

バリアフリー整備施設を利用者にわかりやすく案内する  
移動円滑化経路の案内“らくらくマップ”について



2007年7月

NPO法人 まちの案内推進ネット

〒542-0012大阪市中央区谷町7丁目1番39号  
TEL 06-6768-7002 FAX 06-6768-7649

## バリアフリー整備と案内の現況

交通バリアフリー法が施行され5年が経過し、「外出と交通の案内について」アンケート調査をした結果、利用者の約6割は駅のエレベータ設置など「ハード」整備には高い評価を、駅の案内など「ソフト」面の評価は低くなっている。健常者よりも障害者が、また同行の介助者も約7割が迷った経験があるということから、バリアフリーへの案内に問題があるという結果になっている。障害者の外出意欲は高く、外出前の情報を得られる環境への要求も多い。ソフト面の整備の遅れが鉄道利用による外出のバリア(障害)となっているのが現況と考えられる。

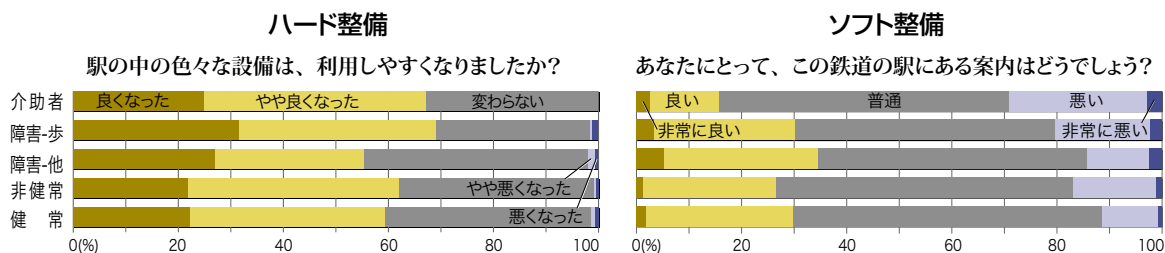


図1 5年前と比較した、駅の施設整備評価

図2 駅の案内のわかりやすさ評価

## 移動経路の理解しやすい案内・表示が求められている

視界の中に目的方向が見える時は迷わないが、複雑な経路や階層になる場合などに迷いの傾向が高くなる。普段利用しない駅になると、健常者でもエレベータ出口への経路などで迷いがみられ、障害者と介助者では著しく迷いの傾向が高くなっている。このような迷いへの改善策として「駅のわかりやすい案内経路図」、さらには事前に情報を得るために、案内経路図のインターネット上への展開が、高齢者や障害者、健常者を含む全属性で期待が示された。

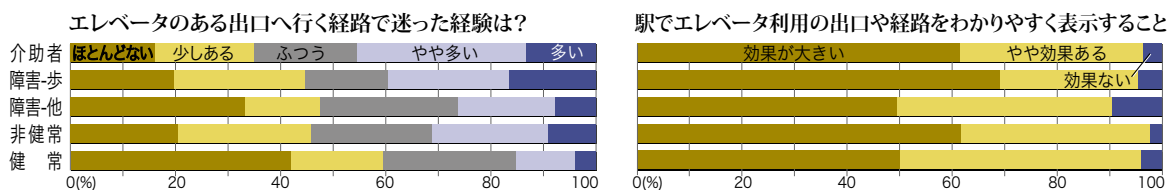


図3 よく利用している鉄道の、駅の案内について

図4 鉄道をわかりやすく利用できるように効果あるか?

以上の参考文献: 「外出と交通の案内についてのアンケート・調査レポート2006」NPO法人まちの案内推進ネットワーク  
有効回答者数 2,059名 / 介助者・障害者1,042名、非障害者(非健常・健常)1,002名

## わかりやすい案内経路図「<sup>移動</sup>らくらくマップ」について

### 考え方

「らくらくマップ」は障害者や高齢者が必要とするバリアフリー設備を中心に記載し、経路となる空間を簡略化した駅の案内経路図である。既存構内図は多様な利用者のニーズに全て応えるため、案内情報が網羅的で複雑となり、理解しにくくなりがちである。このマップでは移動の円滑化に目的を絞り、重要な情報が読み取りやすく、さらにバリアフリー設備の内容がより分かり易く理解できるよう考案されている。

### 評価

何度も検討を重ねたデザインと現場実調査により作成した地下鉄駅の「らくらくマップ」は、完成度の高さ、正確性において高い評価を得た。意見を求めた国土交通省運輸局、交通エコロジー・モビリティ財団、また各都市の交通事業局や障害者・高齢福祉関係局さらにはDPI日本会議をはじめとした障害者団体、社会福祉協議会、関係する学会関係者ら全ての方面から、「非常に分かり易く、使い勝手がいい」との評価を頂いている。

# “らくらくマップ” 情報構成とデザイン仕様

## 案内の連続性と利用者へのわかりやすさ

ホーム階が複数ある駅や他の駅への乗り継ぎ経路が複雑な場合などでも、案内によって利用者に移動経路がわかりやすく連続して認識されることが重要である。このマップでは駅をシンプルな俯瞰図で表現することで、空間全体の理解と施設の位置関係の把握を容易にしている。

また、このマップは事業者や都市が異なっても、表現の統一性や共通性を持たせることにより、利用者にとっての利便性(使い勝手)を保っている。

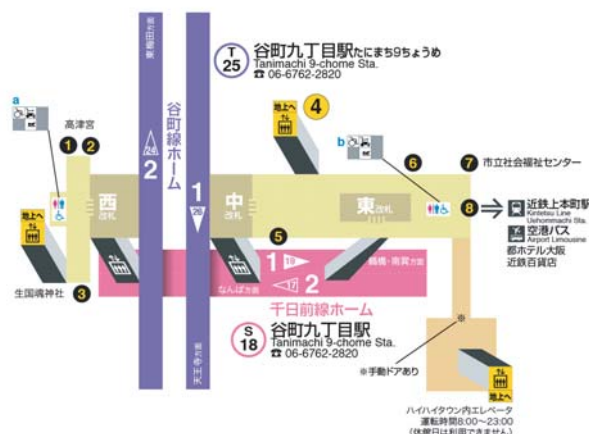


図5 らくらくマップ例

## 身体性の異なる人々への案内機能

駅での移動、特に上下への経路が確保されているかの情報を重視し、分かり易さのため施設情報の記載を厳選するだけでなく、それらの視覚表現に優先順位を設定することにより、車椅子利用者だけでなく、移動に制約のある高齢者や妊産婦から健常者まで、それぞれが理解しやすい表現の工夫を行っている。

表1 らくらくマップの優先順位を設けた案内機能

優先順位	【歩行系障害者】下肢に障害か、車イス等の歩行補助具を必要とする障害者
	駅での移動が可、不可を判断するエレベータや対応のエスカレータ等の設備、さらにバリアフリー経路が確保されているか等が明確に把握できる様、表現の単純化と厳選した必要な情報だけを記載。トイレ機能については詳細を記載、すべての障害者にも対応できる。
	【他障害者】歩行系障害以外の障害者
	上記施設に加え、移動選択肢であるエスカレータが明確に把握できるよう記載されている。なお、色覚障害者を含む視覚障害者への案内対応は今後の検討課題。
	【非健常者】非障害者で健常者・介助者以外の方
高齢者・傷病者・妊産婦・乳幼児連れ等、階段以外の方法での移動を望む方への案内。	
【介助者】歩行系障害者、他障害者、非健常者の介助をする方	
一般的に健常者が多いが、外出同行の要介助者の身体性により移動制約をとともうため、必要とする案内条件は上記各属性に準ずる。	
【健常者】外出時の移動に何ら歩行上の制約がなく、健康で階段を避けない方	
移動手段は選択でき問題はないが、駅の構造や出入口の把握など利便性への理解を高める案内となる。特に乗換えなど複雑な駅については見やすいデザインにより、理解しやすい案内となっている。	

## らくらくマップ作図および情報記載則

### ■ 構内施設配置の表現単純化

- 1) マップは現場調査に基づき、移動で経路選択の誤認が生じにくいことを確認の上、駅の平面現況(ホーム・改札内外の通路の形状、幅や長さ、方向、施設位置)を反映させながら、矩形表現により単純化する。
- 2) 上下階移動手段のエレベータ(以下EV)・エスカレータ(ES)は四角・三角柱で示し、階段は略形で図示。
- 3) 駅全体の上下の階層構造と移動選択経路を立体的に空間として把握できるよう作図する。
- 4) また作図においては、駅の案内表示および携行マップ等の現場空間での使用を前提に、実際の施設の存在する方向に合せ、同一図形を回転させ利用が可能な様に調整する。

### ■ 記載情報の限定と強調表示

- 5) 移動に直接関係しない駅の多様な施設(券売機・駅室等)は記載を省略する(バリアフリートイレは記載)。
- 6) 階段の図形表示は基本的に省略し、駅出入口箇所の記号番号表示とする。ただしゾーン間の移動に階段以外の選択肢が無く、図示により空間接続関係がわかりやすくなる場合のみ表示する。
- 7) 駅出入口と構内設置のEV・車イス対応ES・階段昇降機は全て表示。車イス非対応ESは駅出入口設置のものは全て表示するが、構内のESは主要なものを選択表示し、同一の役割を担うES施設の重複表示を避ける。
- 8) バリアフリー出入口は他の出入口と比較し、明瞭に認識可能な様に、ピクトグラムや出口番号の表現により誘目性を高める。

### ■ 表示要素の共通性

- 9) 駅の現場での案内表示との連携が重要であり、ホーム図形の使用色は鉄道の路線カラーに、施設表示ピクトグラムは標準案内用図記号に準拠。
- 10) 駅周辺施設の記載は事業者提供の記載情報と整合するよう、交通機関および駅サービス圏の不特定多数利用の集客施設等を抽出表示。
- 11) 図中の駅名には仮名を付し、ローマ字表記は都市間の不一致を避けるためへボン式表記とする。

## 「らくらくマップ」の活用について

### 外出のしやすさに向けて

現在NPOでは、この「らくらくマップ」をインターネットサイト「えきペディア」の中に公開している。地下鉄駅案内を、既に公開している大阪、東京・横浜・福岡に続いて全国都市へと展開していく予定である。

このサイトは案内図だけでなく、駅の出入口や構内トイレの写真、さらには情報書き込みの仕組みも取り入れ、役立ち情報や駅周辺の案内など、最新情報が掲載されるサイトになっている。また、投稿により駅利用者の声を直接聞けるものとして、施設設備の評価や改善に向け今後の展開に役立つものと想定している。街の顔としての「えき」を普段の利用者だけでなく、来訪者にとっても分かりやすく、利便性が高まることに「えきペディア」が活用されることを期待している。



図6 駅バリアフリー情報「えきペディア」<http://ekipedia.jp> 「えき」とその周辺の「まち」を合わせて案内

## 既存の案内システムへ

交通事業者や関係機関で、現在すでに構築されている案内システムへの補足活用ということで「らくらくマップ」の役割があるのではと想定しています。

### 「らくらくマップ」の利用方法(例)

- 1) 集客施設の最寄駅アクセス案内として  
Webサイト「えきペディア」へリンクを張る
- 2) ホームページでのバリアフリー案内の強化  
各駅「らくらくマップ」を自社サイト内で表示
- 3) チラシ・パンフレット、ガイドブック等の印刷物  
携行できるバリアフリーマップとしての利用
- 4) 携帯・PDA、現場設置のガイド端末など  
小さな画面から大きな画面のITメディアまで
- 5) 駅の移動円滑化経路の案内表示として  
設置場所に合わせ、見やすく図形を回転。  
乗換え交差駅も同じマップでコンパクトに表示  
でき、省スペースで現場適用がしやすい。

調査で、利用者の“鉄道の利用しやすさ評価”の向上に“案内整備”が結びつくことが判明しており、「らくらくマップ」の案内への利用をご検討ください。

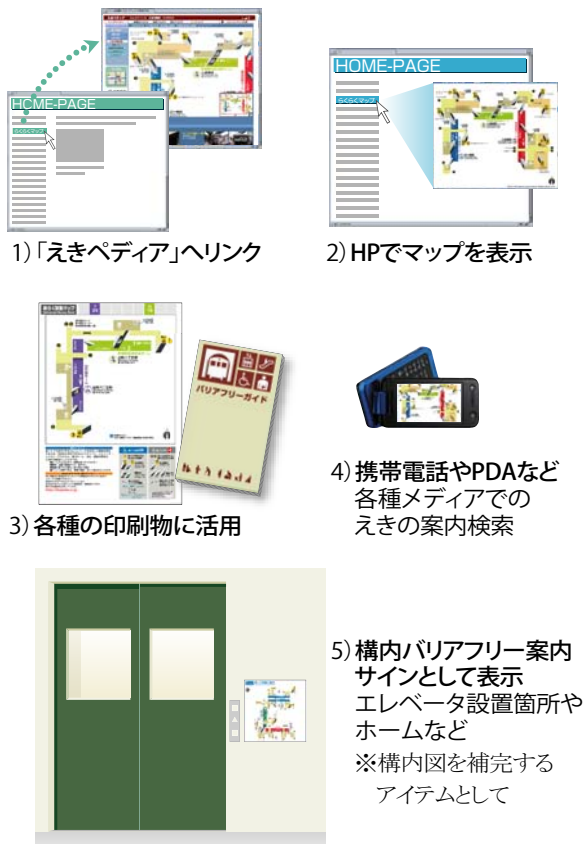


図7 らくらくマップの活用例